

# 研 修 費 一 覧

合計額 20,822 円

(出金日)

	年	月	日	経費(摘要)	金額(円)	領収書等No.
1	3	4	28	議員勉強会負担金	10,000	①
2	3	6	22	全国災害ボランティア連盟年会費	3,100	②
3	3	8	19	日本自治創造学会年会費	2,152	③
4	4	1	24	中小企業経営フォーラムDAY2021参加費	5,000	④
5	4	2	21	議員勉強会負担金(追加分)	570	①
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
小計					20,822	

※ 報告書の原本(資料含む)は議会事務局で保管しています。

①

### 政務活動費出金票

出金日	令和3年4月28日、令和4年2月21日
項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費
摘要	令和3年度 上越市議会議員勉強会負担金 (4/28)10,000円+(2/21・精算金)570円
金額	10,570円

(↓領収書等貼付↓)

当初負担金 10,000円 + 追加負担金 570円 = 10,570円

## 領 収 書

令和3年4月28日

領収No. 18

上越市議会議員 石田 裕一 様

金額 ¥10,000 円

但し、令和3年度 上越市議会議員勉強会負担金として

上記正に領収いたしました

上越市議会議長 飯塚 義隆



# 領 収 書

令和4年2月21日  
領収No. 18

上越市議会議員 石田裕一様

金額 ¥ 570 円

但し、令和3年度 上越市議会議員勉強会負担金として

上記正に領収しました

上越市議会議長 飯塚義隆





## 年会費納入のご依頼

日ごろは全国災害ボランティア議員連盟の運営にご協力いただき、ありがとうございます。

さて、令和3元年度の会費振込をお願いいたします。本議員連盟は皆様の会費のみにより運営されておりますので、ご理解のほどなにとぞよろしくお願い申し上げます。

なお、3年間続けて会費納入が認められない方については、恐縮ですが自動退会とさせていただきます。

### 会費納入先

【店名】 [REDACTED] ( [REDACTED] ) 【店番】 [REDACTED]  
【預金種目】 [REDACTED] 【口座番号】 [REDACTED]  
【会費】 令和元年度  国会議員 6,000円  
 都道府県/政令市議員 5,000円  
 市区町村議員 3,000円  
 賛助会員 3,000円

なお、行き違いもしくは間違いのあった場合は、ご一報をお願いします。

お問い合わせ先

事務局長 [REDACTED] [REDACTED]

会計 [REDACTED] [REDACTED]

ホーム

代表挨拶

設立趣意

災害ボランティア割引制度

役員一覧

会員一覧

規約

事業報告

国への提言

事業のお知らせ

会員ページより

会員の議会活動より

ブログサイト

リンク

連盟への申込

お問合せ

全国災害ボランティア議員連盟

Facebook に接続する

## 規約

(趣旨)

第1条 近年全国各地で風水害や地震災害等の災害が多発し、地域での防災・減災への取り組みの重要性と、災害ボランティアによる効果的な復旧支援活動の必要性とが高まっている。本連盟は、議員・議会の行政に対する適時・的確な働きかけが、国家や地域の防災・減災に資するところ大なることを鑑み、国会・地方議会議員の立場から、地域防災力の向上に寄与しようとするものである。

(名称・事務所)

第2条 前条の趣旨に賛同する議員の集まりを「全国災害ボランティア議員連盟」(以下「災ボラ議連」という)と称し、事務所を事務局長宅に置くものとする。

(目的)

第3条 災ボラ議連は、法的な整備も含めた支援措置を考えるための議員のネットワークを構築し、以下の調査・研究・情報交換などを行うことによって、市民・国民の視点から防災・減災に必要な社会の仕組み作りを考え、適切な政策提言に結び付け、安心・安全な地域づくりに寄与することを目的とする。

- (1) 災害ボランティアの活動環境整備
- (2) 地域防災力向上(防災・減災)
- (3) 災害時の議会・議員の在り方、行政への対応の仕方
- (4) 被災地の復興支援に関する事項
- (5) その他、防災・減災に関する事項

(会員)

第4条 目的に賛同する国会議員および全国の地方議会議員をもって会員とする。また、自治体首長もしくは有識者で会の目的に賛同するものを特別会員、その他の非議員で会の目的に賛同するものを賛助会員とする。ただし、特別会員・賛助会員は、議決権を有しない。

(役員)

第5条 1. 災ボラ議連運営のため、次の役員・顧問を置く。

- (1) 会長 1名 … 本連盟を代表し会務を総括する
- (2) 副会長 若干名 … 会長を補佐し、必要に応じその職務を代理する
- (3) 理事 若干名 … 理事会に参画し、会務を審議する
- (4) 事務局長 1名 … 事務を統括する
- (5) 事務局次長 若干名 … 事務局長を補佐する
- (6) 会計 1名 … 会計を統括する
- (7) 監事 2名 … 会務の執行及び会計を監査し総会において報告するほか、役員会に出席してその職務に関し意見を述べること

ができる

2. 会長・副会長・顧問は、役員会で推薦し、総会で選任する。
3. 理事・事務局長・監事は、総会で選任する。
4. 事務局次長・会計は、事務局長が指名する。
5. 任期は1年、再任を妨げない。
6. 本会に顧問を置くことができる。

(会議)

第6条 災ボラ議連の会議は、次のとおりとする。

- (1) 会議は、総会及び役員会とする
- (2) 総会は、会長が招集し会議を主宰する
- (3) 役員会は、会長が招集し会議を主宰する  
尚、役員会は、理事、事務局長、監事を構成メンバーとする。

(事業)

第7条 災ボラ議連の目的達成のため、次の事業を行う。

- (1) 災害ボランティアの環境整備に関する調査・研究や政策提言の事業
- (2) 地域防災力向上(防災・減災)に関する調査・研究事業
- (3) 災害時の議会・議員の在り方に関する調査・研究事業
- (4) 関係者、関係機関のネットワーク構築と情報交換に関する事業
- (5) 災害発生時の被災地支援に関する事業
- (6) その他、第3条の目的を達成するため必要な事業

(財政)

第8条 1. 本会の財政は、会費及び寄付金等によって運営する。会費は以下のとおり

- (1) 国会議員 年額 6千円
- (2) 都道府県議会議員及び政令指定都市議会議員 年額 5千円
- (3) 市町村議会議員 年額 3千円
- (4) 賛助会員 一口年額 3千円
- (5) 特別会員 一口年額 5千円

2. 会費は年額とし、所定の方法により納入しなければならない

3. なお、会計等については総会に報告し承認を受けるものとする。

(会計年度)

第9条 本会の会計年度は毎年4月1日より、3月31日とする。ただし初年度は、4月3日より12月31日。平成23年度は平成1月1日より平成24年3月31日。

(その他)

第10条 第1条から第9条までに定めのない事項については、役員会で決定する。

付 則

本規約は平成21年10月17日より実施する。

平成22年1月23日一部改正。

平成23年5月31日一部改正。

平成25年5月27日一部改正。

平成28年5月20日一部改正。

平成30年5月21日一部改正。

この規約は平成30年4月1日から改定実施する。

## 政務活動費出金票

出金日	令和3年8月19日
項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費
摘要	2021年度年会費 日本自治創造学会
金額	2,152円

(↓領収書等貼付↓)

※2021年度年会費2,000円+郵便局振込料金152円



会 員 各 位

日本自治創造学会 年会費納入のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日本自治創造学会の2021年度年会費の納入について、[REDACTED]の払込票を添えて御請求申し上げます。

9月15日(水)までにお振込の手続きをおとり戴ければ誠に幸いと存じます。

また、大変遅くなりましたが、会員の皆様の会員証(2年の有効期限を設けており、今回2023年3月31日までのもの)を同封させていただきます。

尚、銀行口座へのお振込みの場合には下記までお願い申し上げます。

[REDACTED]  
[REDACTED] [REDACTED] [REDACTED]

口座名義人

ザイダンホウジンニホンジチソウゾウガクカイ

2021年8月

ご利用明細票		
お取扱日	店番	取扱番号
03-08-19	[REDACTED]	A93170003
取扱店	[REDACTED]	
払込口座	[REDACTED]	
払込金額	*2,000	料金 *152
振替受付票		
払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。料金には、消費税等が含まれています。 ( [REDACTED] )		
記号番号 *****-***** [REDACTED]		
1月に各種料金を改定します。詳細は当行WEBサイトをご覧ください。		

一般財団法人日本自治創造学会 事務局  
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-24

鈴葱ビル301

TEL: 03-5846-9227

FAX: 03-5846-9228

E-mail: info@jsozo.org

(財)日本自治創造学会 会員証	
Japanese Society for Local Democracy Membership card	
会員番号: [REDACTED]	
氏名	石田 裕一
	ISHIDA YUICHI
発行機関	財団法人 日本自治創造学会
有効期限	2021年4月1日~2023年3月31日

## 地方から未来を真剣に考える。

### ホーム

お電話によるご注文・お問い合わせは03-5623-0472

- [ホーム](#)
- [イベント情報](#)
- [新着情報](#)
- [組織概要](#)
- [入会案内](#)

#### 組織概要

#### 日本自治創造学会の特色

### 1. 本会の特色

- (1) 自治の創造  
本会は、市民的な視野に立ち、学術と実践の知的交流を通じて日本の再生、地方自治の創造をめざそうとするものである。特に地方議会の議員を中心に、自治体の首長など政治リーダーを加えることで地域に根ざした実践的な研究及び会員相互の交流を通じて、地域主権国家にふさわしい自立・自律的な地方自治を創造することを目的としています。
- (2) 幅広い事業への取組み  
学術研究大会やシンポジウムの開催にとどまることなく構成員(会員)の自治体改革や議会改革についての①事例発表機会の確保、②取り組みの内容や成果に対する本の刊行など幅広い活動を行います。
- (3) 社会貢献  
法人各(財団法人)を有する団体として透明性の高い運営を図り、広く社会に貢献します。

### 2. 本会の概要

- (1) 事業
  - ①学術シンポジウム、研究発表、交流大会の開催
  - ②各種機関と連携し、会員への情報の提供
  - ③機関紙の発行と必要に応じた本の刊行
- (2) 会員
  - ①地方議員、首長、自治体職員
  - ②地方自治に関心のある市民及び団体、研究者
- (3) 会費
  - ①正会員は年会費2,000円とする。
  - ②大学院生は年会費2,000円とする。
- (4) 研究大会(年次大会)  
講演会やシンポジウムを開催する。
- (5) 役員構成

理事(理事長)	穂坂 邦夫(地方自立政策研究所理事長)
理事	金井 利之(東京大学教授)
理事	牛山 久仁彦(明治大学教授)
理事	土居 文朗(慶應義塾大学教授)
理事	宮台 真司(東京都立大学教授)
理事	西出 順郎(明治大学教授)
幹事	荒田 英知(九州国際大学非常勤講師)
幹事	西田 陽光(一般社団法人次世代社会研究機構代表理事)
幹事	戸崎 将宏(千葉県庁)
幹事	大谷 基道(獨協大学教授)
監事	服部 範雄(会社顧問、元関東管区警察局長)
監事	丸山 晃(株式会社埼玉新聞社名誉顧問)
- (6) 学会事務局  
事務局はNPO法人地方自立政策研究所(〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-24-301・TEL03-5846-9227)に置き、学会事務(会計を含む)を担当します。

▲[ページトップへ](#)

日本自治創造学会規約

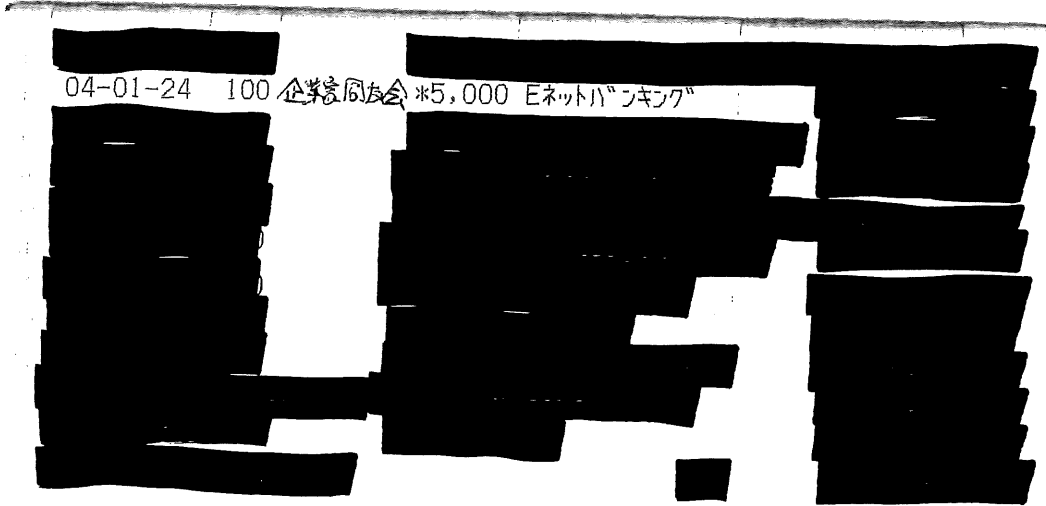
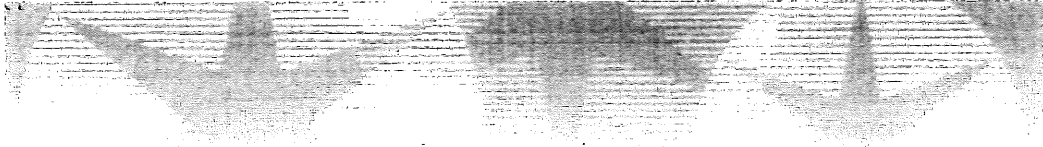
### 政務活動費出金票

出金日	令和4年1月24日
項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費
摘要	「中小企業経営フォーラムDAY2021」参加費 新潟県中小企業家同友会
金額	5,000円

(↓領収書等貼付↓)



石田 裕一 様  
 店番号 [REDACTED]    口座番号 [REDACTED]  
 [10万円型]





今考え、行動する!!

未来に向けて

大切なこと

期間 2022年1月19日(水)〜27日(木)  
実行委員長挨拶／吉田 智 新潟同友会副代表理事・(株)吉田工業 代表取締役  
「今考え、行動する!!」未来に向けて大切なこと」が、今年の経営フォーラム開催テーマです!時代は変わり、変化が求められている今!その中で私たちは積極的に挑戦していき、未来の新潟創りに向けて行動していく!そんな想いを込めて掲げさせていただきました。このフォーラムをわくわく未来を語る会にしましょう!みなさん奮ってのご参加をよろしくお願いいたします!

記念講演

今だからこそ

求められる経営者

としての人間力!!

本日の一生懸命とは、人の心を動かすとはどういう事なのか? 私たちが生きていくうえでとても大切な「人間力」についてお話しいただきます。

頼まれごとが試されごと!!の精神で日本全国大きく展開している実践報告です!乞うご期待!!

★会場定員100名

日時 2022.1.27 (Thu.) 15:00 ~ 17:00

講師

中村 文昭 氏 / (なかむら ふみあき)

有限会社クロフネカンパニー 代表取締役社長  
昭和44年三重県多気郡大台町大杉生まれ  
皇學館高校卒業

経歴

18歳の時、家出同然で単身上京、職務質問を受けたお巡りさんが友人第一。弟のように可愛がられ、仕事・食事の世話をしてもらう。ある日、そのお巡りさんに連れていってもらった、たる焼き鳥屋で人生の進路に影響を受ける大物リーダーに出会う。焼き鳥屋で出会った男性は、大きな事業構想を持ち、そのロマンに惹かれ、その場で弟子入りを決意、彼の商売(野菜の行商)を手伝い始める。  
将来の基盤をつくるために、毎日、300円の生活、お金を節約する熱心さに感心した農家のおばちゃんに可愛がられ産直方式をヒットさせる。19歳の時、行商で得た資金を元に六本木に飲食店を開店し、店をまかせられる。その後、様々な方法でお客様を満足させて、5店舗まで拡張。

会場

記念講演 朱鷺メッセ 中会議室201&オンライン配信(ハイブリッド開催)  
〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号  
※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、完全オンライン開催になる場合がございます  
分科会 Zoom  
参加専用 URL 等は、参加者へ事前メールでお知らせします

参加費

セット 5,000円(すべての分科会参加可&記念講演)  
講演のみ 3,000円/分科会のみ 3,000円(すべての分科会に参加可)  
新潟同友会会員:3月に振替又は請求/ゲスト:指定口座へのお振込みをお願い致します。

申込み方法 | ①〜⑤を記載してメールまたはFAXをお送りください。

①氏名 ②企業名 ③連絡先(電話番号、メールアドレス) ④参加分科会 ⑤記念講演

申込締切日  
各開催日の5日前  
※開催日1日前以降のキャンセルは  
参加費を引させていただきます。

FAX出席回答用紙 FAX:025-383-6225

氏名: 企業名: 役職:

連絡先(TEL) 参加分科会( 1・2・3・4・5・6・7 ) 記念講演(□会場参加 □オンライン参加)  
(MAIL)